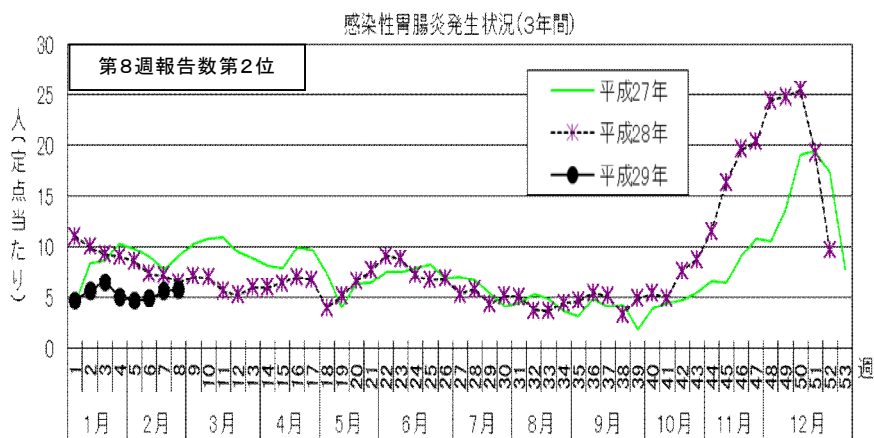
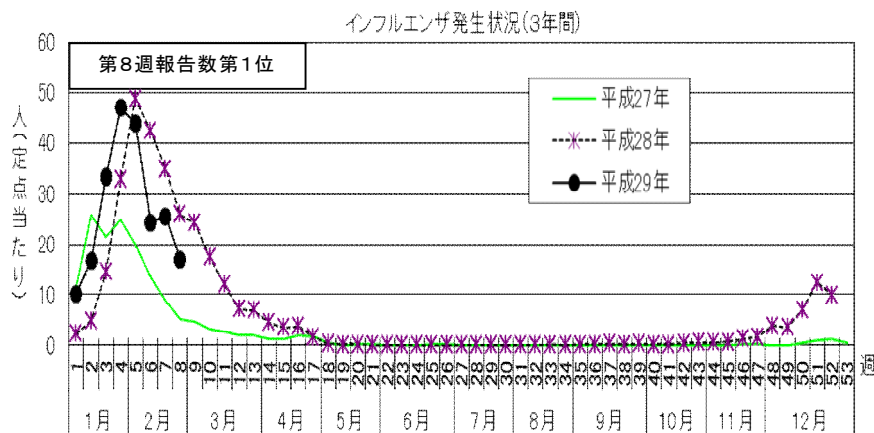


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年2月20日（月）～平成29年2月26日（日）〔平成29年第8週〕の感染症発生状況

第8週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は16.97人と前週（25.52人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.75人と前週（5.58人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.33人と前週（1.89人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## 「子ども予防接種週間」3月1日（水）～3月7日（火）

3月1日（水）～3月7日（火）は「子ども予防接種週間」です。  
 定期予防接種の対象となっているお子さんは、早めに必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。

ワクチンで予防できる疾患にもかかわらず、国内では2013年に成人男性を中心とした風しんの大きな流行がみられ、2016年には海外の流行国から持ち込まれたウイルスによる麻しん（はしか）の集団発生も起きています。  
 この機会に母子健康手帳で予防接種歴を確認し、麻しん・風しんに限らず、まだ定期予防接種が済んでいないお子さんは早めに接種を受けましょう。

※定期予防接種の詳細については、川崎市のホームページをご覧ください。

